

【講座のねらい】

講義や実践の振り返り等を通して自己の課題を明確にし、課題の解決に向けて作成したロードマップに基づく実践を積み重ねることにより、指導力の向上を図る。

【対象】 初任段階（1年次を除く）及び指導力の向上を図りたい数学科担当教諭

【定員】 18名

【研修日程・内容】

- ① 1h
6/24～7/14
オンデマンド
「講義」
- オリエンテーション
 - 学習指導要領に係る動画の視聴

- ② 3.5h 7/30
遠隔型研修Ⅰ
「講義・協議・演習」
- 講義：数学的に考える資質・能力の育成に向けた授業づくり
 - 演習：自己の実践の振り返りと、自己課題の明確化、ロードマップの作成

- 職場実践
- ロードマップに基づいた課題解決に向けた取組の実践

- ③ 1h
10/16
遠隔型研修Ⅱ
「協議」
- 取組の振り返りと実践発表に向けた協議

- ④ 2.5h
12/11
遠隔型研修Ⅲ
「実践交流」
- 実践成果の発表及び交流
 - 研修のまとめ



講師 ②国立教育政策研究所学力調査官（併）教育課程調査官 島尾 裕介 氏

徳島県公立中学校教諭を経てR6より現職。
教育雑誌『数学教育』にて板書からみる授業改善のポイント等を執筆。